

施工状況等報告書

長野県知事  
阿部守一様

岡谷市幸町8番1号  
湖周行政事務組合長 今井竜五

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対象事業の名称	湖周行政事務組合ごみ処理施設建設事業
報告対象期間	平成28年7月1日から 平成28年9月30日まで
環境の保全のための措置の状況	評価書に基づき実施(詳細別紙)
対象事業の実施状況	平成25年11月28日工事着手 新施設建設工事を施工中(別添図面等のとおり) ○建設工事 ・工場棟は工事完了(試運転実施中) ・エントランス広場工事

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

追加[平成11年規則第41号]

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
大気質	工事中	工事関係車両の走行	搬入時間の分散	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める	低減	搬入時間の分散を計画、実施	搬入時間の分散を計画、実施	4-1-71
			交通規制の遵守	工事関係車両の走行にあたっては、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	
			土砂搬出車両荷台のシート覆い	土砂搬出時の経路に粉じん等を飛散させないように、土砂搬出車両の荷台をシート等で覆う	低減	該当なし	該当なし	
			土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	土砂搬出車両を含む工事区域に出入りする車両のタイヤに着いた土砂は洗浄する	低減	該当なし	ハイウォッシャーにて洗浄	
			工事用出入口の路面洗浄	工事用出入口の路面に土砂等が落下、流出してきた場合、散水し洗浄する	低減	該当なし	ほうき等にて清掃及び散水の実施	
	廃棄物搬出入車両等の走行	交通規制の遵守	廃棄物搬出入車両等は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	4-1-79	
		効率的な車両運行の実施	効率的な車両運行によって廃棄物搬出入車両等の台数を削減するとともに集中走行を回避する	低減	効率的な車両運行を計画、実施	効率的な車両運行を計画、実施		
	建設機械の稼働	排出ガス対策型機械の使用	建設機械は、排出ガス対策型の建設機械を使用する	最小化	排出ガス対策型の機械を使用	排出ガス対策型の機械を使用	4-1-96	
		建設機械稼働時間の抑制	建設機械は、アイドリング停止を徹底する	低減	アイドリング停止を徹底	アイドリング停止を徹底		
	建設機械の稼働に伴う粉じん	工事区域に仮囲いを設置	粉じんの飛散防止のため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する	最小化	該当なし	仮囲いを設置	4-1-102	
		排出ガス対策型機械の使用	建設機械は、排出ガス対策型の建設機械を使用する	最小化	排出ガス対策型の機械を使用	排出ガス対策型の機械を使用		
		工事区域への散水	土ぼこりの飛散防止のため、工事区域への散水を行う	低減	該当なし	ほうき等にて清掃及び散水の実施		

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
騒音	工事中	工事関係車両の走行	搬入時間の分散	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化を図る	低減	搬入時間の分散を計画、実施	搬入時間の分散を計画、実施	4-2-19
			交通規制の遵守	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	
		廃棄物搬出入車両等の走行	交通規制の遵守	廃棄物搬出入車両等は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	4-2-25
			効率的な車両走行の実施	効率的な車両走行によって廃棄物搬出入車両等の台数を削減するとともに集中走行を回避する	低減	効率的な車両走行を計画、実施	効率的な車両走行を計画、実施	
		建設機械の稼動	工事区域に仮囲いを設置	工事区域外への建設作業騒音の伝搬を抑制するため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する	最小化	該当なし	仮囲いを設置	4-2-36
			低騒音型機械の使用	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する	最小化	低騒音型の機械を使用	低騒音型の機械を使用	
			建設機械の稼働時間の遵守	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない	最小化	機械稼働時間等を遵守	機械稼働時間等を遵守	
振動	工事中	工事関係車両の走行	搬入時間の分散	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化を図る	低減	搬入時間の分散を計画、実施	搬入時間の分散を計画、実施	4-3-14
			交通規制の遵守	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	
		廃棄物搬出入車両等の走行	交通規制の遵守	廃棄物搬出入車両等は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	4-3-19
			効率的な車両走行の実施	効率的な車両走行によって廃棄物搬出入車両等の台数を削減するとともに集中走行を回避する	低減	効率的な車両走行を計画、実施	効率的な車両走行を計画、実施	
		建設機械の稼動	低振動型機械の使用	建設機械は、低振動型の建設機械の使用に努める	最小化	低振動型の機械を使用	低振動型の機械を使用	4-3-26
			建設機械の稼働時間の遵守	早朝・夜間及び日曜日は、振動を発生させる作業は原則実施しない	最小化	機械稼働時間等を遵守	機械稼働時間等を遵守	

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
水質	工事中	工事による影響	洗浄排水の河川放流の回避	解体に伴う洗浄排水は場外搬出処分とし、河川放流は行わない	回避	該当なし	該当なし	4-6-7
			洗浄排水の濁りの管理	洗浄排水の浮遊物質濃度を10mg/L以下に維持する	低減	該当なし	該当なし	
			アルカリ排水の中和及び流出防止	pH調整機能を備えた仮沈砂池を設置する等の対策により、アルカリ排水の流出を防止する	低減	該当なし	該当なし	4-6-9
土壌汚染	工事中	土地造成（切土・盛土）	土壌汚染の恐れのない採土場の選定	地歴の確認等により土壌汚染の恐れのない採土場を選定する	低減	該当なし	該当なし	4-7-8
			搬入する土砂の適宜測定	搬入する土砂の土壌汚染状況を適宜測定する	低減	該当なし	該当なし	
			発生土の場内処理	造成により発生した土は、できるだけ建設地内で処理（盛土等）を行う	最小化	該当なし	該当なし	
	建築物・工作物等の撤去・廃棄、廃材・残土等の発生・処理	強風時の土工事中止及び散水	強風時には、土工事を中止することに加え、散水を行い、飛散防止対策とする	低減	該当なし	該当なし	4-7-11	
		場外運搬時の車両の洗浄	場外運搬時には、運搬車両のタイヤ等に付着した塵等を現地の設置した洗浄設備にて、洗浄する	低減	該当なし	該当なし		
	取水・揚水・排水・水使用	洗浄前の漏洩防止措置	洗浄水が、土壌中へ浸透しないよう、洗浄前に土間の亀裂の調査、建屋内部の排水側溝の排水先の調査を行い、漏洩及び流出しないよう措置を行う	低減	該当なし	該当なし	4-7-12	
		定期的な点検	適宜、漏洩及び流出が無いよう定期的に点検する	低減	該当なし	該当なし		

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
地形・地質	工事中	土地造成	計画・設計時の確認	盛土部の安定計算の実施	最小化	該当なし	該当なし	4-8-19
				造成地盤高は、より低く設定することによる安定性への配慮	低減	該当なし	該当なし	
				小段の設置及び小段への浸食防止排水溝の設置	低減	該当なし	該当なし	
				対象事業実施区域の西側斜面に対しては、切土ブロック積擁壁等とすることで、安全性に配慮する	低減	該当なし	該当なし	
				事業実施区域での排水工整備により、雨水の地下浸透量を現況以上に抑制する	低減	該当なし	該当なし	
		施工時の配慮	十分な転圧の実施	低減	該当なし	該当なし		
	掘削	計画・設計時の確認	適切な掘削位置の検討	最小化	該当なし	該当なし	4-8-20	
			掘削深度の最小化等	最小化	該当なし	該当なし		
			適切な掘削方法の検討	低減	該当なし	該当なし		
施工時の配慮			矢板等の設置による崩落防止の実施	低減	該当なし	該当なし		
動物	工事中	建設作業	工事区域に仮囲いを設置	工事区域外への建設作業騒音の伝搬を抑制するため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する	最小化	該当なし	仮囲いを設置	4-10-42
			低騒音型機械の使用	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する	最小化	低騒音型の機械を使用	低騒音型の機械を使用	
			建設機械の稼働時間の遵守	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない	最小化	機械稼働時間等を遵守	機械稼働時間等を遵守	

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
動物			作業員への安全配慮の周知	工事中のカモシカ等との衝突事故等に留意する旨を、作業員に対して十分に周知する	最小化	作業員に周知徹底	作業員に周知徹底	4-10-42
			希少猛禽類の営巣状況に応じた弾力的な保全措置の実施	希少猛禽類の営巣状況については、工事中に事後調査を実施する。その中で、事業実施区域近傍において営巣が確認された場合については、工事の実施時期や実施手順の検討、監視体制の強化などの保全策について検討を行い、実施の必要があると判断された場合には、保全措置を実施する	最小化	希少猛禽類の営巣状況について、現地調査を実施。	希少猛禽類の営巣状況について、現地調査を実施。	
景観	工事中	工事による影響	工事区域周辺への仮囲いの設置	工事中の大型建設機械等を遮蔽するために、工事区域周辺に仮囲いを設置する	最小化	該当なし	仮囲いを設置	4-12-9
			仮囲いの色彩等の考慮	仮囲いの資材の選定にあたっては、景観に及ぼす影響を緩和させるような色彩、デザインであることを考慮する	低減	該当なし	景観に配慮	
			建設中の建屋の囲い	囲いの資材の選定にあたっては、景観に及ぼす影響を緩和させるような色彩、デザインであることを考慮する	低減	該当なし	景観に配慮	
活動の場 触れ合い	工事中	工事関係車両の走行に係る騒音及び振動	搬入時間の分散	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化を図る	低減	搬入時間の分散を計画、実施	搬入時間の分散を計画、実施	4-13-11
			交通規制の遵守	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する	低減	工事関係者に周知徹底	工事関係者に周知徹底	

環境保全措置の実施状況

項目	実施期間	環境保全措置の対象	環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類	環境保全措置の実施状況		評価書掲載頁
						今回対象	前回まで	
触れ合い活動の場		工事に伴う騒音	工事区域に仮囲いを設置	工事区域外への建設作業騒音の伝搬を抑制するため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する	最小化	該当なし	仮囲いを設置	4-13-13
			低騒音型機械の使用	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する	最小化	低騒音型機械を使用	低騒音型機械を使用	
			建設機械の稼働時間の遵守	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない	最小化	機械稼働時間等を遵守	機械稼働時間等を遵守	
	工事中	工事に伴う振動	低振動型機械の使用	建設機械は、低振動型の建設機械の使用に努める	最小化	低振動型機械を使用	低振動型機械を使用	4-13-13
			建設機械の稼働時間の遵守	早朝・夜間及び日曜日は、振動を発生させる作業は原則実施しない	最小化	機械稼働時間等を遵守	機械稼働時間等を遵守	
	廃棄物	工事中	工事による影響	建設発生土の再利用	掘削工事において発生土がある場合には、場内での埋め戻し等として再生利用を図る	低減	該当なし	該当なし
コンクリートくず、金属くず、木くず等の再生利用				コンクリートくず、金属くず、木くず等は、可能な限り資源として再生利用する	低減	可能な限り資源として再生利用	可能な限り資源として再生利用	
現場での分別排出				発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する	低減	種類ごと分類し搬出	種類ごと分類し搬出	

## 環境保全措置の実施状況

※( )内はアセス評価書の掲載頁

工事区域に仮囲いを設置 (4-1-102, 4-2-36, 4-10-42, 4-12-9, 4-13-13)

(該当なし)

工事出入口の路面・土砂運搬車両のタイヤ洗浄 (4-1-71, 4-1-102, 4-7-11)

(該当なし)

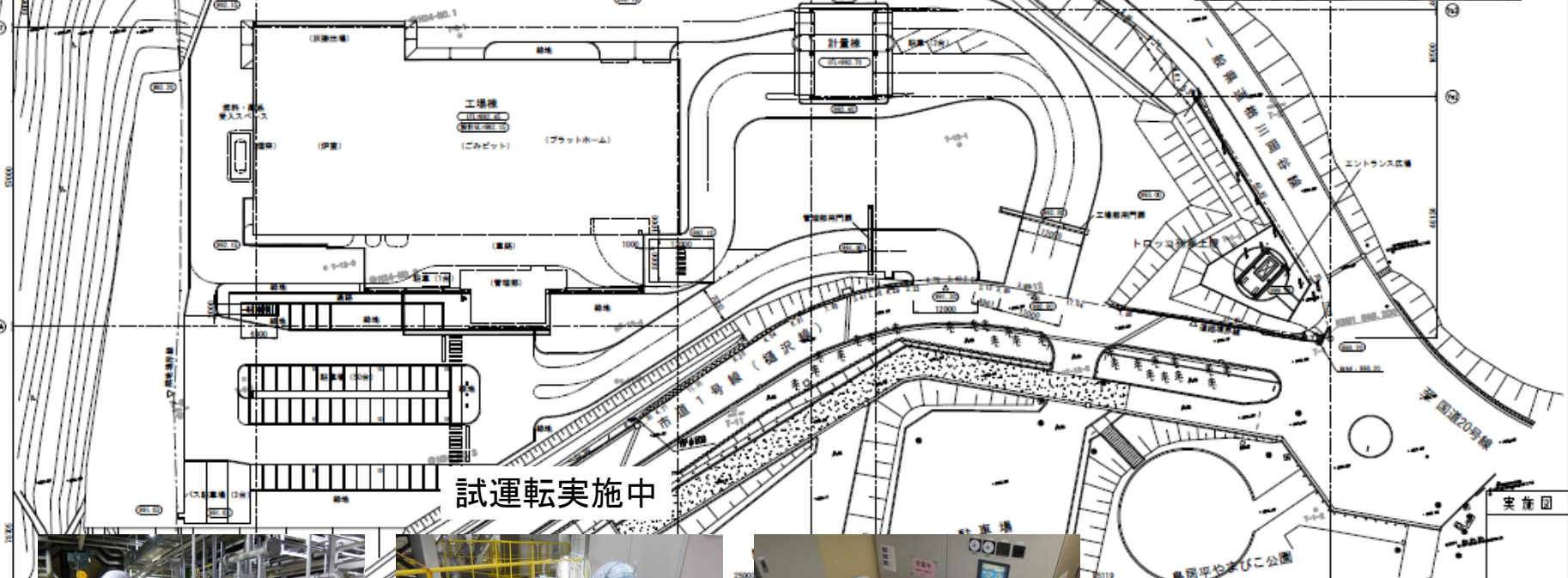
低振動・低騒音・排出ガス対策型機械の使用① (4-1-96, 4-1-102, 4-3-26, 4-13-13)





工場棟 工事完了

エントランス広場工事



試運転実施中



項目	内容	備考	備考	備考	備考	備考	備考
発注	工事	数量	仕様	数量	仕様	数量	仕様
発注	湖周行政事務組合 課						
発注	名称	工事名	湖沼環境クリーンセンター整備工事				
発注	内容	内容	ろ過機増設 55t/24h×2台				
数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
作図	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
尺法	A3 1/800	図名	図名	A-013			
日付	14.08.21	作成	タクマ・岡谷組JV				